

周防大島高校生と学ぶ地域創生

「里山資本主義」の提唱者、日本総合研究所調査部主席研究員、藻谷浩介さんの講演会が、4月3日、橘総合センターで開催されました。



「誇りを持って地域を残して」と藻谷さん

これは、藻谷さんの話を聞き、地域の活性化につなげようと周防大島高校地域創生科の生徒の皆さん自らが企画運営したもので、会場には約350名が詰めかけ、熱心に聞き入りました。

この中で藻谷さんは「地域活性化は人が減らなくなる」とし、人口構造の変遷から「東京もいずれ周防大島のような構造になる。その時お年寄りハッピーか」と問題提起し「地域の中でお金を使って活性化して欲しい」と提案されました。

行政連絡員集会を開催

平成28年度の行政連絡員集会を4月20日から4月27日にかけて町内4箇所で開催しました。集会では、町長から今年度の施政方針の説明、各部長から各部の重要施策の説明が行われました。その後、行政連絡員さんから町の施策に対する質疑や貴重なご提言をいただきました。

行政連絡員は、町の非常勤特別職の職員として町行政と住民との連絡調整や広報などの文書の配布・回覧を行っていただく方です。今年度、各行政区（自治会等）で選任された自治会長さんなど274名の方が行政連絡員に委嘱されました。（写真は東和地区）



しましまタイムズ

地域おこし協力隊員 山崎千寿の

SHIMASHIMA TIMES

4

周防大島町定住促進協議会
☎0820 (74) 1007

1月末で協力隊の任期を終えた三浦さんが始めた周防大島チャネルの「よそもの目線」という番組ですが、4月から「よそもの目線2」として私が引き継ぐことになりました。

主に周防大島の方々とは対話する形だった三浦さんの番組とは一味違い、「よそもの目線2」は周防大島の「食」や「文化」をよそものとして移住し始めた私の方々に教わり、伝えることで女子力アップを目指そうという趣旨です。

第一回は3月に東和の服部屋敷で行われた「大人の雛祭り」というイベントで着物を着て桜餅を作った様子を放送しました。そして第二回はタケノコ掘りとタケノコ料理に挑戦する様子を放送します。移住前の私だったら一生縁なく過ごし



▲山田菜園の山田さん（写真右）にタケノコの掘り方を教えてもらっている様子

てしまったであろう体験。島のみなさんにとってはあたり前に行っていることでも季節を感じながら手仕事ができるのは贅沢なことです。不器用な私ですがこれから回を重ねるごとに成長していけるのか温かく見守って頂けると幸いです。

さて、次回の海岸清掃は5月22日（日）午後3時30分から逗子ヶ浜海水浴場で行います。そして、その次は島時々半島ツアーの参加者のみなさんと一緒に6月11日（土）午後5時から長浜の海岸で行います。皆様のご参加お待ちしております。

【P5 ちよび塩クイズ答え：×】塩分の多いものを食べると水分が欲しくなり、その水分を排泄するためトイレに行きますが、災害時は頻繁にトイレに行くことができません。そこで、非常食であっても塩分控えめのものがおススメです。